



# たかみらいふ!



～「たかみ」「みらい」「らifu」～

文責：コミュニティ・スクール推進員 大空 秀文

「たかみらいふ!」は、高美が丘小・中学校と地域のつながりをさらに深め、「学校づくり」、「地域づくり」、「自分づくり」を推進するために、

コミュニティ・スクールである高美が丘小・中学校について、このまちで暮らす皆様に発信するために作成しています。

高美が丘小・中学校HP、高美が丘地域センターでカラー版掲載中!

## 令和スタンダードの学びを以て

「たかみらいふ!」第 1 1 号では、高美が丘小・中学校で現在進められている GIGA スクール構想についてと、地域センターで行われたロボット講座についてご紹介します。

### ○令和スタンダードの学びに向けて「GIGA スクール構想」の推進

「GIGA スクール構想」とは、2019 年に文部科学省が策定した計画で、「GIGA」は、「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字を取り、「全ての人にグローバルで革新的な入り口を」という意味があります。その目的は大きく 2 点あり、1 点目が、各学校に 1 人 1 台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを整備することで、子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力を一層育成できる教育環境を実現すること。2 点目が、これまでの教育実践と最先端の情報通信技術 (ICT) を組み合わせることで、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すことだとされます。(文部科学省「(リーフレット) GIGA スクール構想の実現へ」より)

情報通信技術を学校教育に効果的に導入することにより、子どもたち自身が様々な情報へのアクセス、子ども一人ひとりが端末に記入したことをリアルタイムでデジタル黒板に映し出すことによる子どもの思考過程の見える化、デジタル教材を活用しての個々人の学習状況に応じた個別学習、離れた場所と学校をつなぐ遠隔授業など用途は多岐にわたります。



### ○高美が丘小・中学校の取組

高美が丘小学校では、1 月 12 日 (火) の朝会で、全校児童に向けてタブレット貸与式が行われました。全校児童がタブレットを所持するにあたり、動画を用いてタブレット使用についての注意事項を確認しました。高美が丘中学校では、1 月 21 日 (木) の学活でタブレットの取り扱いについての説明を受けた後、生徒たちは各家庭に持ち帰り、タブレットを用いた課題をこなしました。

現在、高美が丘小・中学校の両校では「GIGA スクール構想」に向けて、端末を用いた授業研究や校内研修が進められている只中です。



### ○令和スタンダードの学び ～プログラミング学習 本格実施～

「GIGA スクール構想」が進められるなか、全国の小・中学校でプログラミング教育が本格実施されます。急速にデジタル化する現代社会のなかで、児童生徒たちはあらゆる場面で情報通信技術とともに生活することとなり、そのような社会で生きていくために、プログラミング教育が今、必要とされています。

小学校段階のプログラミング教育では、世の中のさまざまなところでコンピュータが活用されていることに気づき、それらを活用していこうとする態度を養うことやプログラミング的思考を育成することが目指されます。プログラミング的思考とは、自分が設定した目標や活動を実現するため、目標達成までにはどのような要素や過程があるか、どのような過程をたどればよいか、より効率的に目標達成するためにはどうすればよいかなどを考えていくことです。これは、コンピュータを使用したプログラミングだけに活きるだけでなく、どのような場面、どのような時代でも活用できる普遍的な思考だとされます。

一方、中学校の「技術・家庭」の「技術」の分野では、小学校のプログラミング教育で培われた力をもとに、より高度なプログラミング教育が行われます。中学校段階では、「学校紹介の Web ページに Q & A 方式のクイズといった双方向性のあるコンテンツを追加したり、互いにコメントなどを送受信できる簡易なチャットを教室内で再現」する学習があげられます。(文科省『中学校学習指導要領解説技術・家庭編』より)

小学校では、今年度から新学習指導要領が全面実施され、プログラミング教育が始まりました。高美が丘小学校では、プログラミングを用いた算数の研究授業 (5 年) が 1 月に行われ、プログラミング教室 (6 年) が 2 月にオンラインで行われました。

中学校は、来年度より新学習指導要領が全面実施されます。



〈高美が丘小 5 年生の様子〉

### ○地域で支える令和スタンダードの学び ～ロボット講座 開催～

先月号で紹介しましたように、「ロボットが作りたい」という高美が丘小学校の児童の希望に応えるため、高美が丘小・中学校コミュニティ・スクールと高美が丘地域センターが主催で、ロボット講座を開催しました。子どもも大人も講師も含め、皆で試行錯誤しながら電子回路を制作しました。

#### ～講師からのメッセージ～

コンピュータを活用することは、パートナーをエスコートして一緒にワルツを踊ることに似ています。コンピュータのできることやつくりを無視して、自分のやりたいことだけをやっても、コンピュータは思い通りに動いてくれないし、逆にコンピュータに頼りっきりだと、危険なことに巻き込まれる可能性もあります。

そこで、本講座では「コンピュータの特性を理解し、主体的に活用することができる人」、言い換えれば「コンピュータをエスコートしてワルツを踊れる人」になる第一歩として、普段なかなか触る機会がない電子回路、「コンピュータの肉体」がどうやって動くのかな? ということを題材として選びました。児童の皆さんが「現代の魔法」であるコンピュータや、来たる「“Society 5.0” 時代でコンピュータをエスコートする方法」を学びきっかけになれば幸いです。



〈講座の様子〉

〈制作した電子回路〉

### ○デジタル化を以て人のつながりを感じる

全国の学校は今、劇的な変化を迎えており、これは、一時の流行ではなく、これからのスタンダードになるともいわれています。高美が丘小・中学校は、子どもたちや教職員はもちろん、保護者や地域の皆様、その他にも学校に関わる多くの方々によって成り立っています。どんなに学校がデジタル化をしようと、人と人とのつながりがあるからこそ教育が成り立つということに変わりはないと考えています。